

生誕80年 森本草介展

平成29年

9月16日(土) — 12月3日(日)

無料入館日 9月16日(土)・30日(土)、10月1日(日)・28日(土)・29日(日)、
11月3日(金・祝)

夜間開館 10月1日(日)は19:00まで開館いたします。

休館日 裏面右下「ご利用案内」をご覧ください。

洋画家 森本草介(もりもと そうすけ)(1937~2015)は、多感な少年期のおよそ6年間を一関市で送りました。女性や風景、静物などを繊細に描いた彼の作品は多くの美術ファンを魅了し、一昨年に逝去した後も、その人気は高まるばかりです。

本展では、長谷川町子美術館(東京)、エール蔵王 島川記念館(宮城)、ウッドワン美術館(広島)の所蔵作品を中心に、森本作品を紹介します。絶筆(未完のパンジー)も特別公開。



《ゆかた姿》1995年 油彩・カンヴァス 130.3×89.4cm ウッドワン美術館所蔵

関連行事

対談

第1回 10月1日(日) 13:30~14:30

「森本草介 ～生誕80年に寄せて～」

森本 三紗子氏 森本草介氏奥様

安田 茂美氏 東京藝術大学客員教授・ホキ美術館広報

第2回 11月19日(日) 13:30~15:00

「コレクターの眼・修復家の眼
～森本草介作品の魅力～」

橋本 野乃子氏 長谷川町子美術館学芸員

村松 裕美氏 修復家

第1回・第2回とも

定員/一般100名(申込み必要)

会場/博物館

参加料/無料

画家の愛した音楽の夕べ

一関市民オーケストラのメンバーを中心に
した「よまえまカルテット」による演奏会

1回目 10月1日(日) 18:00~18:40

2回目 12月3日(日) 15:00~15:40

1回目・2回目とも 会場/博物館

参加料/無料

申込み不要

ギャラリートーク

10月7日(土)・8日(日)、11月4日(土)・5日(日)、

12月2日(土)・3日(日)

いずれも、11:00~11:30と14:00~14:30

参加料/無料(入館料は必要)

美術館ツアー

当館企画展「生誕80年 森本草介展」を鑑賞後、エール蔵王 島川記念館へ出かけます。

一関市博物館では、企画展の解説と、エール蔵王 島川記念館の事前学習を当館学芸員を講師として行います。

博物館や美術館での作品鑑賞ができる年齢であれば、児童・生徒の参加も歓迎です。小学生以下は保護者の付き添いをお願いします。

レクチャー/当館学芸員

10月29日(日) 9:00~17:30

博物館集合・解散

定員/60名(要申込)

参加料/3,000円

テーマ展

テーマ展
1

みのむしさんじん

蓑虫山人の足跡を訪ねて

— 一関・平泉 —

会期

5月20日(土) — 6月25日(日)

★5月20日(土)・21日(日)は無料でご覧いただけます。



蓑虫山人画(千厩町清田)

全国各地を放浪し、土地の風景や風俗、考古資料などを描いた蓑虫山人。狛鼻溪の存在を全国で紹介するなど、旧東磐井郡を中心に一関にも訪れています。蓑虫山人の絵とともに、明治の一関・平泉を紹介します。

【関連行事】

講演会

「描かれた明治の東磐井・蓑虫山人がみたもの」

6月11日(日) 13:30~15:00

講師/熊谷常正氏(盛岡大学文学部長)

定員/一般100名(要申込)

参加料/無料

【展示解説会】

5月20日(土) 10:30~11:30、13:30~14:30

6月11日(日) 10:30~11:30、15:10~16:00

6月25日(日) 10:30~11:30

テーマ展
2

てつごりんとうちりん

鉄五輪塔地輪と花泉の中世

会期

平成30年1月20日(土) — 3月21日(水祝)

★1月20日(土)は無料でご覧いただけます。

国指定重要文化財である鎌倉時代に制作された鉄五輪塔地輪を中心に、五輪塔が所在する花泉地域の中世について紹介します。

【関連行事】

講演会1

「中世磐井郡の祈りと信仰」

1月20日(土) 13:30~15:00

講師/畠山篤雄氏

(一関市教育委員会文化財課

文化財調査研究員)

講演会2

「涌津八幡神社鉄製五輪塔の鑑賞と歴史」

2月24日(土) 13:30~15:00

講師/狭川真一氏

(公益財団法人 元興寺文化財研究所 副所長)

定員/一般100名(要申込) 参加料/無料

【展示解説会】

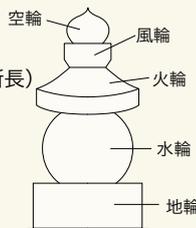
1月20日(土) 15:15~16:00

2月24日(土) 15:15~16:00

3月21日(水祝) 10:30~11:45、13:30~14:15



鉄五輪塔地輪



ゴールデン
ウィーク展

いちのせきはん かろうせき

一関藩家老席沼田家の遺宝

— 平成28年度奇贈資料から —

会期

4月29日(土祝) — 5月7日(日)

★4月29日(土祝)は無料でご覧いただけます。

沼田家は幕末に一関藩の家老を務めた家柄です。市内には旧宅が現存していて、一関市の文化財に指定され公開されています。本展は28年度に沼田家から奇贈された資料の中から、数々の優品を紹介します。

【展示解説会】

4月29日(土祝)、5月7日(日) 両日とも

10:30~11:00、13:30~14:00



参考：旧沼田家武家住宅



伊予札桶側菱綴胴具足

講座

館長講座



①高館義経堂と衣河館

6月4日(日) 13:30~15:00

②葛西氏と千葉氏(2)

— 宗清は千葉氏から入嗣によって —

9月3日(日) 13:30~15:00

③骨寺村出土のかわらけ(土器)が物語るもの

11月3日(金祝) 13:30~15:00

講師/入間田宣夫(館長)

定員/一般50名(要申込) 参加料/無料



新編塵劫記

和算講座 一般編

江戸時代に発達した日本独自の数学「和算」について、その歴史や特徴、初歩的な内容などを解説します。

①6/24②7/22③8/19④9/2⑤10/28

⑥11/25 の各(土) 13:30~15:00

講師/岩手県和算研究会

定員/一般36名(要申込) 参加料/300円



算法新書

和算講座 研究編

一関出身の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』を通して和算を学びます。

①5/27②6/24③7/22④8/19⑤9/2

⑥10/28⑦11/25⑧12/9

の各(土) 10:30~12:00

講師/岩手県和算研究会

定員/一般36名(要申込) 参加料/300円

古文書講座 一伊達騒動を読む一

当館所蔵の「田村家記録」などから、仙台藩で起こったお家騒動「伊達騒動(寛文事件)」にせまります。

①5/28(日)②6/10(土)③6/25(日)④7/9(日)

⑤7/23(日)の各日とも 13:00~15:00

講師/学芸員

定員/一般36名(要申込)

参加料/300円(初回のみ)



田村家記録

講座「骨寺大学」



骨寺村荘園遺跡空撮

一関市博物館では、大学等研究者と連携して骨寺村荘園遺跡の多角的な調査研究を実施しています。これらの成果を広く公開するため、連続講座を実施します。全6回。定員/一般50名(要申込) 参加料/300円(初回のみ)

①「現地視察—絵図と現地の対比—」

6月17日(土) 13:00~17:00 当館学芸員

②「かわらけ(土器)頂戴の作法—骨寺村の年貢・公事・貢上にさいして—」

7月1日(土) 13:30~15:00 入間田宣夫(当館館長)

③「人別帳をよむ—鉄砲と類族など—」

8月27日(日) 13:30~15:00 菊池勇夫氏(宮城学院女子大学教授)

④「経蔵別当の歴代について」

9月17日(日) 13:30~15:00 当館骨寺村荘園遺跡専門員

⑤「中世骨寺村の山と川」

10月21日(土) 13:30~15:00 菅田慶信氏(岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)

⑥「詳細絵図にみられる水田の現地比定—農業水利の視点から—」

11月18日(土) 13:30~15:00 広田純一氏(岩手大学教授)

講演

洋学史学会一関大会

「杉田玄白没後200周年 東北の蘭学」

杉田玄白の没後200周年を記念して、杉田玄白とゆかりの深い建部清庵・大槻玄沢を生んだ一関で、東北地方の蘭学について洋学史学会会員に最新の研究成果を発表していただきます。

9月9日(土) 13:00~14:30…特別講演/14:50~16:45…研究報告

定員/一般100名(要申込) 参加料/無料

体験学習

🍷 グラスペインティング(ガラス絵)に挑戦

透明な板ガラスの裏側から絵を描く「ガラス絵」に挑戦してみませんか。ガラス絵は17世紀の半ばにオランダ商館長が初めて日本に伝えたと言われています。その美しさには、蘭学者をはじめ当時の人々も目を見張ったことでしょう。大人だけの参加も歓迎です。



9月23日(土)、9月24日(日)

各日とも 午前の部 9:00~12:00 午後の部 13:00~16:00

講師/学芸員 参加料/300円(汚れてもよい服装でお越しください)

定員/小学3年生以上各回15名。(付き添いの保護者もご参加ください。申込み必要)

📷 カメラマンと楽しむピンホールカメラ



レンズもないのに撮影できるピンホールカメラ。プロカメラマン阿部和史氏を講師に、ピンホールカメラを手作りし、撮影をします。針穴(ピンホール)を通して映し出される不思議な写真を楽しみましょう。

7月30日(日) 9:30~16:00 定員/中学生以上、10名(要申込) 参加料/500円

🏛️ 史跡めぐり — 磐井の石めぐり

巨岩、巨石、石造物をめぐり、古来の信仰や伝説にふれます。市のバスで移動します。



10月14日(土)

8:30 博物館発

16:00 博物館着(予定)

定員/一般25名(要申込) 参加料/無料 四ツ石大明神(市内巖美町)

🔨 あなたも刀鍛冶修業



ファイゴや金敷、金槌など刀鍛冶の道具を使って、五寸釘からペーパーナイフを作ります。(火花が散りますので、作業がしやすい服装でおいで下さい)

講師/早坂政義氏(刀匠)

10月22日(日) 13:00~16:00

定員/小学5年生以上一般15名(要申込) 参加料/200円

体験学習

🎨 美術品の扱い方を学びましょう

家庭にある美術品を大切に伝えていくために、正しい扱い方を学びましょう。

テーマ: 軸物と箱結び 7月29日(土) 10:30~11:30、13:00~14:00

講師/学芸員 定員/一般10名 参加料/無料

🎨 はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

★江戸時代のマジックボックス・のぞきめがねをつくらう

7月8日(土) 13:30~16:00

持ち物/500mlの牛乳パック1個

定員/小学生以上 親子25名(要申込)

参加料/300円(材料費)



★江戸時代のうつし絵をつくらう

8月5日(土)

10:00~12:00

13:00~15:00の間随時

(所要時間約1時間)

定員/小学生以上 50名(申込不要)

参加料/50円(材料費)



★拓本をとろう

8月20日(日)

10:00~12:00

13:00~15:00の間随時

(所要時間約1時間)

持ち物/なし

汚れてもよい服装でおこし下さい。

定員/小学生以上 親子30名(申込不要)

参加料/50円(材料費)



★和紙を染めてみよう

1月13日(土)

10:00~12:00

13:00~15:00の間随時

(所要時間約1時間)

持ち物/なし

汚れてもよい服装でおこし下さい。

定員/小学生以上 50名(申込不要) 参加料/50円(材料費)



🧮 和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級から上級問題まで、解答を募集します。



12月1日(金)に問題と応募要領を発表、郵送で解答を受け付けます。

締め切り/1月20日(土)消印有効

定員/どなたでも。応募者には3月末日までに解答集をお送りします。

表彰式/3月4日(日) 13:30~15:00

🍷 このマークは小学生参加可能な行事です。

※講演会や体験学習などの申込みは、全行事について随時電話にて受け付けています(TEL 0191-29-3180)。

※その他、行事に関する詳細は博物館へお問い合わせ下さい。

ご利用案内

常設展示: 「一関のあゆみ」「舞草刀と刀剣」「大槻玄沢と蘭学」「大槻文彦と言海」「一関と和算」

◆入館料

区分	料金	団体(20人以上)
小学生・中学生	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき160円
一般	300円	1人につき240円

※市内65歳以上の方と障がい者・介護者の方は、入館料が免除されます。

◆共通入場券

有効期間	料金	対象施設
1年間	1,000円	一関市博物館 芦東山記念館 石と賢治のミュージアム 大籠キリシタン殉教公園
10日間	500円	

開館時間 9:00~17:00(ただし、入館は16:30まで)

無料入館日 企画展・特別展・テーマ展などの開会初日、国際博物館の日の5月20日(土)・21日(日)、開館20周年の9月30日(土)~10月1日(日)、東北文化の日の10月28日(土)・29日(日)、文化の日の11月3日(金・祝)

休館日 毎週月曜日(祝日の時は翌日)、「新たな国民のたから」開催のため7月11日(土)~7月14日(金)及び8月22日(土)、資料整理のための休館日の12月19日(土)~12月28日(金)、年末年始の12月29日(土)~1月3日(日)

交通案内 ■自動車 一関ICより西へ約7分(5km)

■JR東北新幹線 一ノ関駅より車で約17分(9km)

※一ノ関駅から路線バスで約20分(巖美溪バス停下車徒歩7分)

この「年間行事案内」に対するお問い合わせ、参加申込みは、
一関市博物館 〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215番地1 TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006